

Kanazawa Univ. ©

新YAMAZAKIプラン 2018

～革新を追い風に、世界を牽引する国際的な教育研究拠点へ～



金沢大学

改
「チャレンジ！」
革

平成 30 年 4 月 1 日
大学改革推進委員会

新YAMAZAKIプラン 2018 の基本的な考え方

金沢大学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置づけの下、グローバル社会をリードする人材の育成と、世界に通用する研究拠点の形成を目標に定め、全学的な大学改革プランとして、平成 26 年 4 月に「YAMAZAKI プラン 2014」を策定した。さらに、平成 28 年 10 月に「YAMAZAKI プラン 2016」として、その内容を発展的に見直し、学長の強いリーダーシップによるガバナンス強化と戦略的な大学マネジメントを基盤とし、世界にその存在感を示すことができる教育研究成果の創出に向けた様々な改革を推進してきた。

この改革により、年俸制やリサーチプロフェッサー制度、教員評価制度等の新たな人事給与制度が構築・運用され、また、新学術創成研究機構や国際基幹教育院、新学術創成研究科の創設、平成 29 年度文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」の採択によるナノ生命科学研究所の創設等、世界を牽引する国際的な教育研究拠点の形成に向けた礎を着実に築き上げてきたところである。

一方、IoT やビッグデータ、AI などの数理データサイエンスをベースとした第 4 次産業革命・Society5.0 と称される情報科学技術の飛躍的進展や、少子高齢化と人口減少の進行等、社会システムそのものに大変革がもたらされようとしている中、国立大学においては、さらなる機能分化や機能強化が求められている。

こうした革新を追い風にしながら、金沢大学が世界を牽引し、地方創生にも寄与する国際的な教育研究拠点を形成するため、ここに新たな大学改革プランとなる「新 YAMAZAKI プラン 2018」をとりまとめた。

「新 YAMAZAKI プラン 2018」においては、世界的な研究拠点の形成、グローバルリーダーとして活躍する人材の育成、世界と地域の環流による研究成果の社会実装など 6 つの重点戦略の下、10 年後、20 年後の金沢大学の姿を見据えつつ、これまでの取組を発展させ、世界と伍して卓越した教育研究を展開するための施策を精選し掲げている。

この金沢大学における改革は、卓越した実践的な大学改革のモデルとなるものであり、それは将来の金沢大学のあるべき姿を教職員一人一人が思い描き、その理想の具現化に向けて、各人が主体的に取り組むことで実現できるものである。

この理念の下、全学を挙げて「新 YAMAZAKI プラン 2018」に掲げる各施策に取り組む、自主的、自律的な大学改革を加速させていきたい。

新YAMAZAKIプラン 2018

■戦略1

研究の先鋭化と新たな強みとなる新領域・融合分野の創出による世界的研究拠点の形成

Vision I 先進的・独創的研究の推進及び多様な基礎研究の充実

Vision II 研究力強化を促進する支援体制の整備

■戦略2

グローバル社会の中核的なリーダーとして活躍する「金沢大学ブランド」人材の育成

Vision III 大学院教育の高度化と国際化によるイノベーション人材の育成

Vision IV 学士課程の教育改革によるグローバル人材の育成

Vision V 入学から卒業までの徹底した学生支援

■戦略3

国際的な連携ネットワークの形成と頭脳循環の推進

Vision VI 強力な国際競争力を備えたネットワークの活用による人的交流の拡大

■戦略4

世界と地域との環流による社会貢献・社会実装

Vision VII 大学をハブとした社会のあらゆるセクターとの有機的連携

Vision VIII 大学が有する知的資源等へのアクセシビリティの向上

■戦略5

積極的なガバナンス改革による戦略的マネジメントの推進

Vision IX 大学改革・機能強化を推進する大学運営

Vision X 戦略的・効果的な財政運営の推進

Vision XI グローバル化に対応する教育研究環境の整備

■戦略6

高度臨床研究の展開と中核的な医療拠点としての機能強化に向けた附属病院改革の推進

Vision XII 臨床研究の推進と先進的医療を担う人材の育成

Vision XIII 地域中核病院としての機能強化

■戦略 1

研究の先鋭化と新たな強みとなる新領域・融合分野の創出による世界的研究拠点の形成

Vision I 先進的・独創的研究の推進及び多様な基礎研究の充実

Subject 1 世界的な学問の潮流を見据えた国際的な研究拠点の形成

[Action] WPI 拠点や共同利用・共同研究拠点、新学術創成研究機構、研究域附属研究センター等における組織的な研究活動を先鋭化し、国際的な研究拠点を形成する。

Subject 2 研究大学としての全学的な研究水準の向上

[Action] 総合大学としての機能強化に向け、研究グループ・個人をベースとした研究力強化方策を組織的、戦略的に推進する。

Vision II 研究力強化を促進する支援体制の整備

Subject 1 世界に誇る学術研究の進展に向けた支援体制の強化

[Action] 世界に誇る研究拠点の形成に向け、学内 COE 制度（戦略的研究推進プログラム（超然・先魁））等により、優位性のある研究や異分野融合研究に対する組織的な支援を行うとともに、URA を中心とした研究支援体制を充実する。

Subject 2 新たなプロジェクトに応じた施設等の計画的整備

[Action] 様々なプロジェクトに応じた施設整備計画を策定し、同計画に基づき、本学の機能強化に資する環境の充実に向けた計画的な施設整備を行う。

■戦略 2

グローバル社会の中核的なリーダーとして活躍する「金沢大学ブランド」人材の育成

Vision III 大学院教育の高度化と国際化によるイノベーション人材の育成

Subject 1 金沢大学の特色をいかした大学院課程の組織改革

[Action] 社会のニーズ等を踏まえ、本学の特色をいかした大学院課程における組織改革を実施する。

Subject 2 大学院教育の高度化・国際化を推進する教育プログラム改革

[Action] アカデミアや産業界をリードする高度専門人材の養成に向け、先進的・学際的な研究実績の活用、海外大学との連携や英語による教育の充実により、大学院教育の高度化・国際化を推進する教育プログラムの開発・改善に取り組む。

Subject 3 社会ニーズを踏まえた専門職学位課程の教育力強化

[Action] 社会のニーズを踏まえ、専門職大学院の教育体制を強化する。

Vision IV 学士課程の教育改革によるグローバル人材の育成

Subject 1 金沢大学の強み・特色をいかした学士課程の組織改革

[Action] 社会のニーズ等を踏まえ、本学の強み・特色をいかした学士課程における教育組織の改革に取り組む。

Subject 2 基幹教育の定着及び深化

[Action] KUGS (Kanazawa University “Global” Standard) の理念に基づくGS科目や学域GS科目等の基幹教育を着実に展開する。

Subject 3 学士課程教育の高度化・国際化を推進する教育プログラム改革

[Action] 教育方法の改善や、教職協働、広域圏を活用した教育機能等を基盤としつつ、英語による教育の充実を進めるとともに、国際通用性の高い教育プログラムやアントレプレナーシップ醸成のための教育プログラムを開発・実施する。

Subject 4 高大連携と入試制度改革

[Action] グローバルサイエンスキャンパス事業等により、高大接続の観点に立った、高校生に対する教育プログラムを提供する。また、学域・学類の人材養成目的や特色に応じた入試制度改革を行う。

Vision V

入学から卒業までの徹底した学生支援

Subject 1 統合的な学生支援組織の設置等による学生支援の充実

[Action] 学生を支援するための組織の設置、奨学金制度の改革等により、学生支援体制を充実する。

Subject 2 学生留学生宿舍「先魁」Ⅲ期の整備と学生寮等の再整備計画策定

[Action] 本学の日本人学生と留学生が快適な生活の拠点を持つことにより、互いの文化等の理解を図りつつ、修学を充実できる宿舍を整備する。

Subject 3 附属図書館が有する学修支援機能の強化

[Action] ラーニング・アドバイザー（LA）制度及び留学生ラーニング・コンシェルジュ（LeCIS）制度等を充実させるとともに、附属図書館が有する学修支援機能を活用した総合教育棟等での学修支援体制の構築等、自学自習の支援拠点である附属図書館の学修支援機能を強化する。

■戦略3

国際的な連携ネットワークの形成と頭脳循環の推進

Vision VI 強力な国際競争力を備えたネットワークの活用による人的交流の拡大

Subject 1 世界トップレベル大学等との組織的な連携による交流ネットワークの形成

[Action] 世界トップレベル大学等との組織対組織の連携基盤を強化し、国際競争力のある交流ネットワークを形成する。

Subject 2 若手研究者及び学生の海外双方向交流の拡大

[Action] 世界トップレベル大学等との交流ネットワークを活用し、若手研究者や留学生・外国人学生を含めた学生の海外大学との双方向交流を拡大する。



■戦略 4

世界と地域との環流による社会貢献・社会実装

Vision VII 大学をハブとした社会のあらゆるセクターとの有機的連携

Subject 1 社会実装・社会協働を一体的に推進するための体制構築

[Action] 本学が有するリソースを産業、地域振興、行政、人材育成、医療等、社会のあらゆる領域に還元し、多様なセクターとの実効的な社会実装・社会協働を一体的に推進するための体制を構築する。

Subject 2 社会実装までを見据えた実証型研究プロジェクト等の展開

[Action] イノベーションの創出に向けて、社会・経済的なニーズと本学の研究・技術シーズとのマッチングを基に、自治体、企業等と連携した実証型の研究プロジェクトや共同研究等を展開する。

Subject 3 地方創生に向けた社会と大学との協働による事業の展開

[Action] 地方創生に向けて、地域課題を共有する圏域ごとに設けた協議の場等も活用しながら、自治体や大学コンソーシアム石川等の関係団体等との連携を発展させ、社会と大学との協働による高齢化社会や人口減少等を見据えた持続可能社会の構築に資する事業等に取り組む。

Vision VIII 大学が有する知的資源等へのアクセシビリティの向上

Subject 1 研究成果の社会還元に向けた知的資源等の戦略的管理

[Action] 本学の研究成果の社会還元に向けて、学術論文をはじめとする学術情報のオープン・アクセス化を進めるとともに、研究内容等を知的財産の観点から評価し、戦略的に管理する。

Subject 2 所蔵資料の公開・利用促進及び「未来図書館」構想の具体化

[Action] 企画展示等を通じて、各図書館や資料館が有する資料を積極的に公開し、利用拡大に取り組むとともに、知の集積・知的交流の場としての「未来図書館」構想の実現に向けて具体的な計画を策定する。

Subject 3 社会ニーズに基づく付加価値の高い学習事業の実施

[Action] 本学の知的資源を活用した高度職業人養成に資する学習事業や、付加価値が高い学習事業を開発・実施するとともに、社会人教育に特化した新たな教育課程の創設に向けての構想を策定する。

■戦略 5

積極的なガバナンス改革による戦略的マネジメントの推進

Vision IX 大学改革・機能強化を推進する大学運営

Subject 1 大学改革・機能強化を実現するためのガバナンス改革

[Action] 本学の強みや特色をいかし、教育研究機能を最大限に発揮するため、ガバナンス体制を更に強化する。

Subject 2 大学の戦略に即した人員配置・人材育成と評価制度の運用

[Action] 教員配置計画や男女共同参画の展開等を踏まえ、戦略的な教員採用・配置を行うとともに、外国語運用能力をはじめとする教職員の能力開発を推進する。併せて、教員評価制度を着実に運用し、処遇に反映する。

Subject 3 戦略的な広報と積極的な広聴活動の展開

[Action] 広報戦略に基づき、Web サイトや広報物等、対象や目的に応じた効果的な広報手段を用い、大学の情報を積極的に広く社会に発信するとともに、ステークホルダー協議会や同窓会等を通じ、関係機関との対話と連携を強化する。

Subject 4 法令遵守の徹底及び啓発

[Action] 研究不正の防止を含め、コンプライアンスを徹底し、適正な法人運営を推進する。

Vision X 戦略的・効果的な財政運営の推進

Subject 1 持続可能な財政運営の確立

[Action] 国の運営費交付金の配分方針を踏まえ、第3期中期目標期間における財政計画に基づき支出の見直しを行う。また、効果的な資産活用による自己収入の確保等、持続可能な財政運営を行う。

Subject 2 基金の拡充と効果的な活用

[Action] 基金を拡充し、安定した財政運営に資するとともに、基金（大学・修学支援・課外活動振興）を効果的に活用した活動を積極的に展開する。

Subject 1**教育研究組織に応じた有効な施設マネジメント**

- [Action] 教育研究組織の態様に応じた既存施設の利活用に係る再点検を行い、既存施設やスペースの再整備・再配分を実施するとともに、施設マネジメントに係る新たな計画や将来構想を策定する。

Subject 2**情報セキュリティの強化**

- [Action] 情報セキュリティの強化（機密性・完全性）に向け、情報セキュリティインシデントの未然防止等を含め、国際基準に応じた情報セキュリティマネジメントシステムを着実に運用する。



■ 戦略 6

高度臨床研究の展開と中核的な医療拠点としての機能強化に向けた附属病院改革の推進

Vision XII 臨床研究の推進と先進的医療を担う人材の育成

Subject 1 先進的医療及び橋渡し研究・臨床研究の推進

[Action] 臨床研究に係る組織的な支援を行い、先進医療・医師主導治験を推進するとともに、臨床研究中核病院指定に向けた環境整備を行う。

Subject 2 初期研修・専門医研修の充実と優れた医療人材の育成

[Action] 研修医・専門医総合教育センターにおいて初期臨床研修から専門医研修までを俯瞰した指導を行い、優秀な専門医を育成するとともに、CPDセンターを活用した専門教育・安全教育・リカレント教育を行い、優れた医療従事者を育成する。

Vision XIII 地域中核病院としての機能強化

Subject 1 第7次医療計画を踏まえた附属病院の将来構想策定

[Action] 将来のあるべき医療提供体制の実現に向け、ガバナンス・人員・経営・診療機能等の様々な面から本院の目指すべきビジョンを策定する。

Subject 2 診療の質向上による地域医療への貢献

[Action] 地域の中核病院として、引き続き高度医療を提供するため、医療安全管理体制の更なる強化を進めるとともに、関連病院との連携を深める。